

安全な電子回路基板製造現場を目指して ～ JPCA の環境安全委員会－労働安全衛生 WG の取り組みについて～

1. はじめに

JPCA の環境安全委員会－労働安全衛生 WG では、安全で快適な職場を目指して、電子回路基板製造現場を対象として、以下の様な労働安全向上施策を実施して参りました。

- ウェブサイトによる情報の提供
- 労働災害発生状況調査の実施及び調査結果分析と結果報告
- 労働災害抑止に向けたポスターの作成及び配布
- 危険予知訓練（KYT）シートの作成及び配布、他

ここでは、電子回路基板製造業における労働災害の発生状況と共に、環境安全委員会－労働安全衛生 WG が行った調査結果をご報告致します。

危険予知訓練（KYT）とは

事故や災害の発生を防ぐ事を目的に、潜在する事故や危険（Kiken）を予知（Yochi）し、指摘しあう訓練（Training）です。

この訓練では、危険を自らが危険と感じ、各自が安全行動に注意する意識を高め、うっかりミス等による事故や怪我を防ぐ事に繋がります。

2. 労働災害の発生状況

日本の製造業における労働災害事故は年々減少していますが（図1参照）、電子回路基板製造業を含む電子・通信機器製造業においては、労働災害発生件数に増減の波があります（図2参照）。

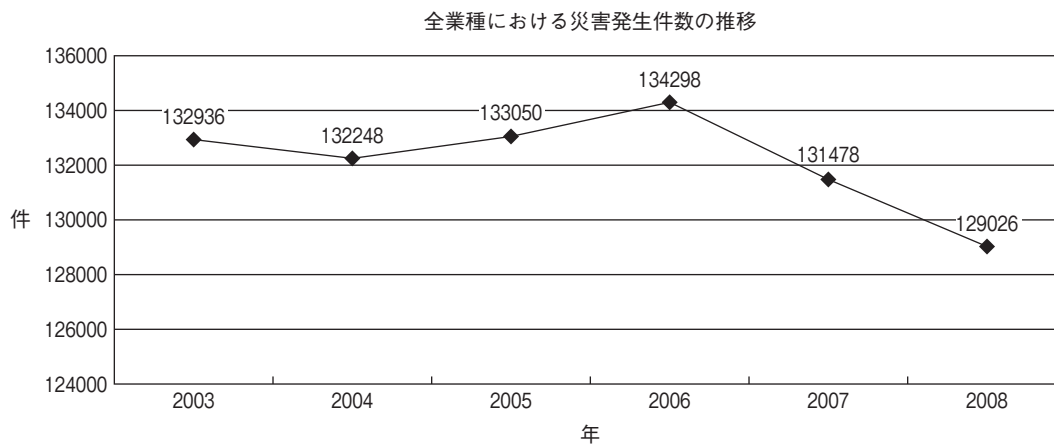
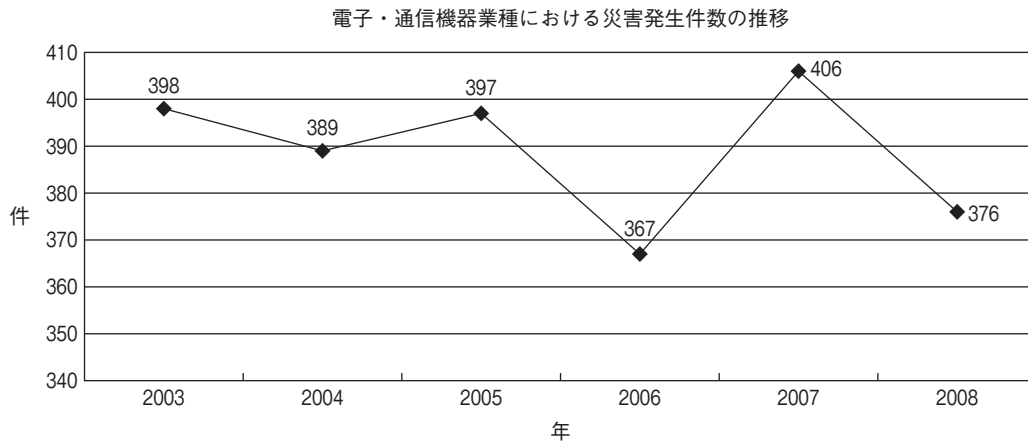


図1：全業種における災害発生件数の推移



(出典：中央労働災害防止協会ホームページ「労働災害分析データ」)

図2：電子・通信機器業種における災害発件数の推移

3. 電子回路基板製造業における労働災害の傾向

JPCA 調査によると、当業界で発生する労働災害の約80%は、うっかりミスに起因するもので、作業に慣れてきた頃（現職経験年数1～5年）に多発しています（図3参照）。

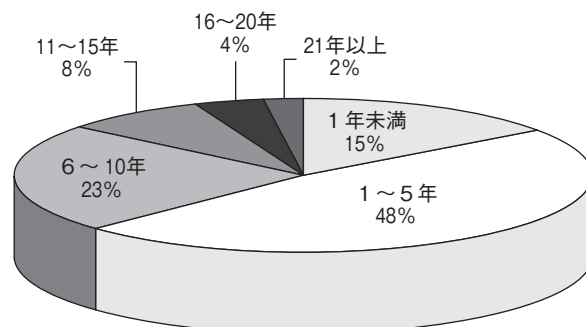


図3：現職経験年数

また、労働災害は作業中より段取り・後片付け中、製品や材料の運搬中に多発しており、今回は特に薬品補充時の跳ねによる薬傷等が目立ちました（図4参照）。

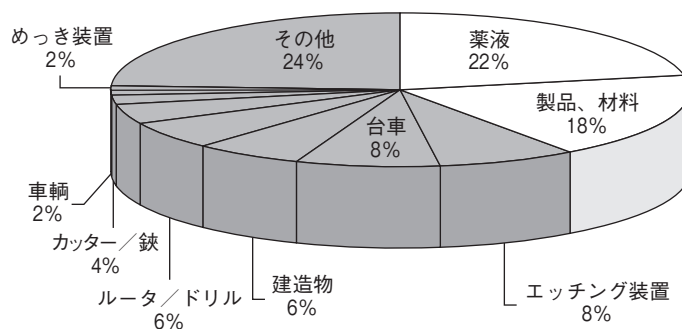


図4：起因物

4. 危険予知訓練（KYT）への取り組み

労働安全衛生 WG では、電子回路基板製造業における労働災害が発生した状況を分析し、2009年3月に、電子回路基板製造業者に向けた危険予知訓練（KYT）シートを作成し、ご案内致しました。

2009年7月に KYT 訓練実施状況調査を実施した結果、図5の様に回答社の約75%が実施もしくは実施を計画している事が判明しました。

しかし、KYT シートの使用方法については個人やグループにゆだねる場合が多く、会社として取り組んでいるのは約40%のみでした。（図6参照）

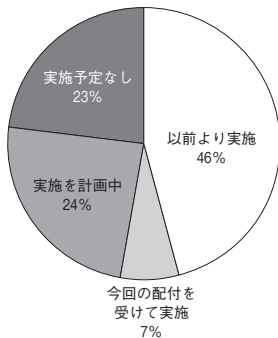


図5：JPCA 会員企業における危険予知訓練の実施状況

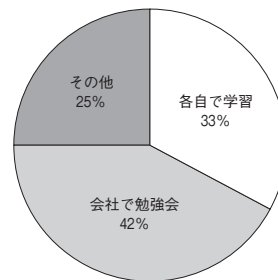


図6：KYT シート使用方法

KYT については、一人ひとりが作業を行う上で習慣として危険を予知し、回避するようになるまで繰り返し実施する事が大切です。ご案内致しました KYT シートをご活用いただき、当業界における労働災害の発生抑制に貢献できれば幸いです。

5. 今後の労働安全衛生 WG の活動について

労働安全衛生向上に向けては、多くの会員企業の皆様より、実務や現場に即した施策をご希望されている事が浮き彫りになりました。

今後、本 WG ではこの調査結果を鑑み、より安全な労働環境の整備に繋がる資料や情報の提供を行って参りたいと思います。

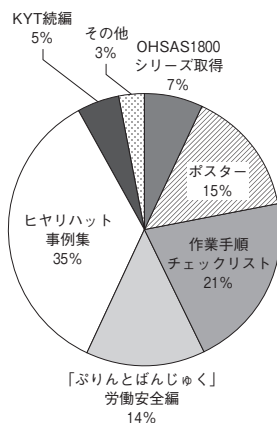


図7：労働災害防止ツールとして有効と思われるもの

以上

※JPCA が実施したアンケート結果の詳細は以下よりご確認いただけます。

- ①「2008年電子回路基板製造業における労災調査結果」http://www.jpca.net/kankyo/rousai_kekka2009.ppt
- ②「危険予知訓練（KYT）シートに関する調査結果」http://www.jpca.net/kankyo/kyt_kekka2009.doc